

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人
小山市社会福祉協議会

目 次

1. 地域福祉の意識づくり・ひとづくり

1-1. 地域福祉について知ろう・参加しよう

- (1) 広報活動事業 **強化** 1
- (2) 小山市社会福祉協議会表彰..... 1
- (3) 第10回「ふくし」の標語コンクールの開催..... 1
- (4) 市民リフレッシュ講座事業..... 1

1-2. 福祉の心を育もう

- (1) 福祉用具貸出しと福祉教育講師派遣..... 2
- (2) 福祉教育協力校補助事業..... 2
- (3) サマーボランティアスクール事業..... 2

1-3. 地域福祉活動を実践しよう

- (1) ボランティア養成講座事業..... 3
- (2) ボランティア入門講座事業..... 3
- (3) おやまお助け隊(個人ボランティア)、ボランティアサークルの状況 **強化**..... 3
- (4) 社協ボランティアセンターの運営..... 4
- (5) おしゃべりダイヤル..... 4

2. 地域で支え合うしくみづくり

2-1. 支え合える地域をつくろう

- (1) 地区社会福祉協議会の設立・活動推進 **強化**..... 5
- (2) 生活支援体制整備事業 **強化** (市受託) 7

2-2. 地域のつながり・交流の場を広げよう

- (1) おもちゃ図書館の開館..... 10
- (2) 児童遊び場整備事業..... 10
- (3) シニアライフアップ講座・サークル事業..... 10
- (4) ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業..... 10

2-3. 必要な人に情報や支援をつなげよう

- (1) 心配ごと相談事業(一部市受託) 11
- (2) 暮らしのなんでも相談..... 11
- (3) 生活福祉資金貸付事業(県社協受託) 12
- (4) 緊急生活一時資金貸付事業 13
- (5) 緊急食料等支援事業 **強化** 13
- (6) 赤い羽根緊急生活支援商品券支給事業 13
- (7) 低所得世帯入学児童支援事業 14

(8) 災害見舞金支給事業	14
(9) ひとり親家庭支援事業	14
(10) 視覚障がい者への「声の広報」の発行	14
(11) こども発達支援センター「たんぼぼ園」(一部市受託)	14
(12) 相談支援事業所「さくら」	16
(13) 日常生活自立支援事業(あすてらす おやま)(県社協受託)	16
(14) 成年後見制度利用支援事業(市受託)	17
(15) 市民後見推進事業/成年後見制度利用促進事業(市受託)	17
(16) 法人後見事業	18
(17) 基幹型/高齢者サポートセンター小山総合の運営 強化 (市受託)	18
(18) ホームヘルプサービス事業	19
(19) 在宅介護支援センター	19
(20) 在宅ねたきり老人等紙おむつ券給付事業(一部市受託)	20
(21) 善意銀行の運営	20
2-4. 協働の輪を広げよう	
(1) 社協会員会費募集	21
(2) 共同募金運動の推進	21
(3) どんぐり基金(地域福祉振興基金)の造成 強化	22
3. 安全で安心して暮らせるまちづくり	
3-1. 誰もが住みやすいまちをつくろう	
(1) 車椅子・車椅子移送車貸出事業	23
3-2. 災害時に助け合えるまちをつくろう	
(1) 災害ボランティア活動推進事業 強化	23
4. 地域に根づいた法人の運営	
4-1. 責任ある法人運営	
(1) 理事会、評議員会、委員会の開催	24
その他	
(1) 日本赤十字社事業	27
資料	
小山市社会福祉協議会善意銀行寄付者・払出先明細	28
令和5年度地域福祉振興基金(どんぐり基金)寄付受入明細書	31
事業報告附属明細書	33

1. 地域福祉の意識づくり・ひとづくり

1-1. 地域福祉について知ろう・参加しよう

(1) 広報活動事業（強化事業）

① 社協だより「ふれあい」の発行

広報委員会を中心に、分かりやすく親しまれる広報誌の作成に力を入れ、本会のPRと活動への参加を呼び掛けました。

発行月日	方法
6/1・9/1・12/1・3/1	全世帯に配布（55,000部発行／回）

② ホームページの運営、SNS を活用した情報発信

ホームページを通して積極的な情報提供に努めたほか、SNS（Facebook）や市の広報誌、新聞等を利用して啓発活動を進めました。

情報発信回数	ホームページ：55回	Facebook：46回
--------	------------	--------------

(2) 小山市社会福祉協議会表彰

開催日/会場	表彰受賞者
3月25日（月） 小山市健康医療介護総合支援センター 研修室	社会福祉功労者：49人 どんぐり基金寄付者：13件 善意銀行寄付者：4件 「ふくし」の標語コンクール入賞者：14人

(3) 第10回「ふくし」の標語コンクールの開催

期間	区分	応募総数	結果
9月6日(水)～ 10月18日(水)	小学生	110点	最優秀作品1点、優秀作品3点
	中学生	374点	最優秀作品1点、優秀作品4点
	一般	104点	〃
	合計	588点	

(4) 市民リフレッシュ講座の開催

講座名	講師	対応
疲れた体をリフレッシュ！ 太極拳体験コース	岡崎 和代 氏	4回コースを前期・後期に開講 前期：7/4、11、25、8/8 後期：10/17、11/7、14、21

1-2. 福祉の心を育もう

(1)福祉用具貸出しと福祉教育講師派遣

①福祉用具貸出し

区 分	貸出件数		貸出器材内訳					
	校数	回数	点字盤	車椅子	アイマスク	高齢者体験	白杖	ビデオ
小学校	14校	23回	190個	83台	89個	36組	117本	-
中学校	2校	1回	-	9台	9個	8組	9本	-
その他	2校	4回	-	2台	-	5組	-	-
合 計	18校	28回	190個	94台	98個	49組	126本	-

②福祉教育講師派遣

区 分	校 数	手話講師派遣		点字講師派遣		当事者派遣他		合 計	
		回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
小学校	9校	8回	31人	5回	13人	4回	6人	17回	50人
中学校	1校	-	-	-	-	1回	1人	1回	1人
その他	1校	10回	27人	-	-	-	-	10回	27人
合 計	11校	18回	58人	5回	13人	5回	7人	28回	78人

(2)福祉教育協力校補助事業

区 分	校 数	補助額
小 学 校	22校	438,000円
中 学 校	3校	60,000円
義務教育学校	1校	26,000円
高 等 学 校	4校	108,000円
合 計	30校	631,000円

(3)サマーボランティアスクール事業

①小学生親子（4年生以上）サマーボランティアスクール

開催日/会場	内 容	協力機関・団体	参加者
7月29日(土) 健康医療介護総合 支援センター 研修室	視覚障がいについて学ぼう ア. 盲導犬についてのお話と体験歩行 イ. 点字の手打ち体験 ウ. 学習シートによる事前学習、振り返り	東日本盲導犬協 会 小山点友会 虹の和会	30組 62名

②中学生（2年生以上）・義務教育学校（8年生以上）・高校生サマーボランティアスクール

開催日/会場	内 容	協力機関・団体	参加者
8月5日(土) 栃木県立県南体育館	車椅子バスケットボール体験 車椅子バスケットボール選手 による講話	栃木レイカーズ	29人

1-3. 地域福祉活動を実践しよう

(1) ボランティア養成講座事業

於：旧保健福祉センター、しらすぎ館

講座名	期 間	回数	協力団体	参加者
手話初級講座	5/11～8/24(木曜 昼)	15回	手話サークル 環	6人
手話初級講座	5/16～8/29(火曜 昼)	15回	手話サークル すずらん	3人
手話初級講座	4/12～7/5(水曜 夜)	12回	手話サークル 彩	3人
手話入門講座	4/20～10/12(木曜 夜)	23回	手話サークル 光里の環	25人
音訳ボランティア養成初級講座	10/17～1/30(火曜 昼)	15回	郭公の会	3人
点訳入門講座	5/2～8/8(火曜 昼)	15回	小山点友会	2人
パソコン点訳初級講座	10/10～3/5(火曜 夜)	20回	福朗の会	6人
オカリナ講座	4/19～11/1(水曜 昼)	15回	サークル オカリナ	4人
要約筆記入門講座	2/6～3/5(火曜 昼)	5回	おやま OHP	2人
9講座(手話4、音訳1、点訳2、オカリナ2、要約筆記1)		135回	9団体	54人

(2) ボランティア入門講座事業

開催日/会場	内 容	協力機関・団体	参加者
7月2日(日) 7月23日(日) 小山市市民活動センター	傾聴ボランティアを目指す人のための初級講座～実践編～ 研修、演習、グループワーク	小山市市民活動センター 小山市傾聴ボランティア協議会 講師：黒川 貢 氏	24人 19人
10月20日(金) コワーキングスペース SEKEN	コワーキングスペース SEKEN で学ぶ ふくしの夜活 「くるまいす de VAL あるき」 車いすユーザーや介護者への理解促進を図る	コワーキングスペース SEKEN	12人
1月20日(土) 小山市市民活動センター	ちょっとしたコツで、もっと伝わるチラシ作り講座 講話・グループワーク	小山市市民活動センター	17人

(3) おやまお助け隊(個人ボランティア)、ボランティアサークルの状況(強化事業)

項 目	登録数	活動費助成
おやまお助け隊(個人ボランティア)	46人	-
ボランティアサークル	31団体(1,286人)	計549,000円を助成

(4)社協ボランティアセンターの運営

①ボランティアの相談・斡旋、登録団体等への支援状況

項目	件数
ボランティア活動の相談	44件
ボランティア要請の相談	30件
登録団体の活動支援 (活動場所調整、情報提供、視察研修、 物品・助成金申請・記念誌発行支援等)	随時

②ボランティア保険取扱い

種類	取扱件数		
	団体加入	個人加入	加入者合計
ボランティア活動保険	26団体	11人	1,753人
ボランティア行事用保険	4団体	-	150人
福祉サービス総合補償	5団体	-	22,811人
送迎サービス補償	6団体	-	680人
合計	41団体	11人	25,394人

(5)おしゃべりダイヤル

新型コロナウイルスの感染拡大により、地域活動や交流事業が休止となったことにより地域住民のふれあい、安否確認、情報交換の場が失われたことに対して、小山市傾聴ボランティア協議会の協力を得、小山市市民活動センターと共催により電話傾聴を通じた“つながりづくり”を行いました。

開設日時	毎週 月・木・金曜日 午後1時～4時(祝・祭日は休止)
活動状況	利用件数：延 409人 協力ボランティア数：7人

2. 地域で支え合うしくみづくり

2-1. 支え合える地域をつくろう

(1)地区社会福祉協議会の設立・活動推進（強化事業）

地域住民が地域の生活・福祉課題を共有し、地域の助け合いによって課題を解決し、住民主体の地域福祉活動を推進するために、市内11地区に地区社会福祉協議会を設置し、活動費の助成、各地区の状況に応じた支援を行いました。

地区名	活動内容
小山北部地区 (H18.8.26 設立)	高齢者への名札配布 地域活動への助成金交付
小山東部地区 (H18.8.26 設立)	高齢者と子供のふれあい事業（8月） 視察研修会（11月） 研修会の開催（2月） 一人暮らし高齢者宅（75歳以上）友愛訪問（1月～2月）
小山中部地区 (H18.8.30 設立)	自治会ボランティア会での友愛訪問活動（通年） まちづくりビジョン推進委員会の開催（7月） 地域つながりワークショップの開催（8月26日）
小山南部地区 (H18.9.5 設立)	南部だより第5号発行（6月） 視察研修会（9月） 一人暮らし・高齢者夫婦世帯（75歳以上）友愛訪問（10月～11月） 見守り活動情報交換会の開催（2月）
大谷地区 (H15.12.14 設立)	おおや社協だより「大谷きずな」発行（52号・53号・54号） 地区社協PR活動（小山お囃子城東） 他団体との交流・PR（講座にてPR） 寝たきり老人紙おむつ券給付事業（申請：3千円×52人） 高齢者一人暮らし お昼を一緒に食べる会（計6回） 本の読み聞かせ「おはなし会」開催（2回/月） 地域美化・環境整備支援（小中学校での共同定植作業、大谷公民館への配布） 「月曜カフェ」の開催（毎週月曜日）（189人/42回） 小山市移動図書館「せきれい号」開設（1回/月、火曜日午前） 高齢者等の日常生活支援事業（活動k根数207件、延活動人数312人） 地区内小中学校ボランティア支援（三中ひまわりの種袋詰め支援） ボランティア交流・研修・親睦会の開催（出前講座11月、12月） ボランティアニュースレター発行（No.14） 登録ボランティアを増やす活動（ボランティア入門講座開催） 地域福祉コーディネーターによる相談対応「暮らしの相談室」 総会、運委委員会、幹事会その他事業に関連する会議の開催

地区名	活動内容
間々田地区 (H15.1.17 設立)	地域ボランティア会活動の推進と助成金交付 (友愛訪問、清掃活動、敬老会、福祉施設訪問、子育て支援、研修会等) 間々田地区社協だより(第3号)の発行 講演会開催(演題:いま求められる地域の「かたち」)
豊田地区 (H14.6.1 設立)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動中止
桑地区 (H14.7.30 設立)	「楽しく学ぶ認知症予防講座」(10月/34名) 「楽しい健康づくりの集い」(3月/28名) 見守り安心サポーター事業 桑地区高齢者見守り訪問事業 夏休みの思い出作り!みんなで遊ぼう~桑子連夏まつり~(8月/50名) 第2回ジャンボかるた大会(11月/23名)
中地区 (H25.5.19 設立)	中地区たすけあい事業「だけボラ」(活動回数11回) 視察研修受け入れ(佐野市葛生地区・赤見地区、足利市三重地区) 中ふくしだより発行(第11・12号) 視察研修会(鹿沼市菊沢地区) いきいきふれあいさくらとの交流会(47名) 昔あそび交流会(120名) 第2期中地区社協活動計画策定
寒川地区 (H25.5.30 設立)	標語コンクール、寒川ウォーキング、どんどん焼き、グラウンドゴルフ、 輪投げ・ペタンク大会、寒川公民館まつり輪投げ大会協力
絹地区 (H27.3.4 設立)	絹地区移動支援事業「のらっせ・きぬ」(活動回数32回) グラウンドゴルフ大会(11月) 絹地区社協だより発行(9号) 福祉学習会の開催(36名)

(2)生活支援体制整備事業（強化事業/市受託事業）

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、市と連携を図りながら第1層協議体（市圏域の支え合いを発展させ、多様な生活支援サービス体制を推進していく場）を運営しています。令和5年度は任期交代に伴う新協議体を結成し、新しい委員さんが役割の理解を深め、アドバイザーチームと共に、地域支え合いの推進について1層で取り組むべき新たなテーマを導き出す検討をはじめました。

① 第1層協議体会議の開催（アドバイザーチーム6名、委員11名）

	実施日	内 容（詳細）
第1回	7/9	・委嘱状交付 ・委員自己紹介 ・これまでの協議体の経過報告と今後のスケジュール
第2回	9/25	研修会 「第1層協議体の役割について」 講師：NPO 法人 CLC 理事 池田昌弘 氏 参加者：33名（協議体委員、興味のある市民、学生、事務局職員）
第3回	11/16	会議 「第1層協議体で取り組んでいきたいこと」 ・グループワーク（知っている地域のささえあい活動と、あったらいい活動）
第4回	1/18	会議 「第1層協議体で取り組んでいくテーマ」 ・グループワーク（2グループに分かれて問題提起）
第5回	3/18	全体会 「第1層協議体で取り組むべきテーマの絞り込み」 ・グループワーク（2グループの問題提起についてアドバイザー委員、高齢生きがい課、2層SCからのアドバイス）
12月 委員の白鷗大・TBC 看護専門学校訪問。協議状況説明、グループワーク。		

②外出を支え隊運営事業

高齢者の通院支援を目的としたボランティア活動です。

利用者数 43人、ボランティア数 24人、延べ利用 件数 262件

③「認定ドライバー養成研修」

外出を支え隊運営事業に必要なボランティアドライバーの養成を目的に実施しました。

令和5年6月18日(日)～19日(月) 参加者数 18人

（研修後9人が外出を支え隊ボランティアに登録）

④買物支援事業

市内の7福祉事業所の協力を得て、8自治会7グループで月2回、実施しています。

⑤「生活支援ボランティア入門編講座」10月3日(水)～10月31日(水)開催

生活支援ボランティアの養成を目的に4回講座で開催しました。参加者数 21人

開催回/日	内 容	協力機関・団体
第1回 10月3日(火)	「居場所から広がる支え合い活動と信頼をつくるコミュニケーション力」	講師：NPO法人 福聚会 代表 青田 賢之 氏
第2回 10月17日(火)	「高齢者の体の変化と支援の注意点」	講師：医師 島田 潤子 氏
第3回 10月24日(火)	「ボランティア活動をするにあたって」	講師：白鷗大学名誉教授 結城 史隆 氏 市民活動センター おやま～る 小針 協子 氏
第4回 10月31日(火)	生活支援ボランティア活動の紹介	民生委員、送迎支援、買い物支援、サロンのボランティアさん

⑥「生活支援ボランティア活用編講座」12月19日(火)開催

入門編の終了者向けに、今後の活動に向けボランティア団体の紹介と活動団体の見学を実施しました。参加者数10人

内 容	協力機関・団体
午前：活動見学・施設訪問	ひととのや買い物支援（スーパーかましん） 市民活動センター おやま～る 城東常設型サロン「じゃあ、またね」
午後：登録ボランティア団体の紹介	小山市社会福祉協議会登録ボランティアセンター 大谷地区社協 シルバー人材センター NPO法人 ナルク ふれあいコープ おたがいさま 土塔2自治会 ふれあい茶処「いってみっぺ」

⑦TV おやま「ふれあいネット」による啓発活動

取材月	取材内容	取材月	
5月	外出を支え隊（移動支援）	12月	定期型サロン「あじさい」
7月	喜沢中部 お買い物支援（桑地区）	1月	ファミリーマート移動販売（美田地区）
9月	土塔2公民館（大谷地区） ふれあい茶処「いってみっぺ」	2月	常設型サロン「じゃあ、またね」
10月	生活支援ボランティア入門編講座		

⑧生活支援コーディネーター研修会・交流会

実施日	研修名	主催等
6/27	地域支え合いフォーラム	小山市高齢生きがい課
8/10～11	「ガクチカ」福祉の担い手養成講座	結城市
9/5	生活支援体制整備事業に係る担当者情報交換会	県社協
9/8	シルバー大学マッチング授業	シルバー大学校
10/2～10	いきがい・助け合いサミット	さわやか財団
12/25	生活支援コーディネーターオンライン研修	CLC
1/12	ふくしのチカラ実践フォーラム	栃木県
2/8	わいがや座談会 TOCHIGI～生活支援体制整備事業情報交換会	県社協
2/10	地域支え合い講演会	茨城県古河市
2/19	SC 研修会「コミュニティ・コーピング」	小山市社協
3/6	栃木市地域福祉サポーターズスタートアップ研修 小山市・栃木市生活支援コーディネーター交流会	小山市・栃木市社協
3/7	4市町 SC 意見交換会（小山市・古河市・結城市・野木町）	古河市社協

※SC：生活支援コーディネーター

2-2. 地域のつながり・交流の場を広げよう

(1)おもちゃ図書館の開館

昭和61年9月に、心身障がい児を対象として、障がい児の相互の交流を図りながら遊びを創造し、子ども達の成長・発達を支援していくことを目的として開設し、ボランティアグループ「ピノキオ」の協力を得て運営を行ってきました。

現在では、広く一般のお子さんをも対象に開館しており、学生ボランティアの参加も得ながら、沢山の親子がおもちゃを通して交流を図ることのできる場となっています。

開設日時	毎月第1土曜日 午前10時～午後3時（祝・祭日は休館）
開設場所	こども発達支援センター「たんぼぼ園」（神鳥谷934-3）
活動状況	利用者数：延812人 協力ボランティア数：延107人

(2)児童遊び場整備事業

各自治会で管理する児童の遊び場の整備について、共同募金より助成金を交付いたしました。

自治会名	助成額	総額
中島自治会	遊具塗装等：132,000円	132,000円
土塔一自治会	移設修繕等：110,000円	110,000円

(3)シニアライフアップ講座事業

市内在住の60歳以上の方を対象に、昭和60年から講座を開講し、ライフワークとして趣味を楽しむきっかけづくり、生きがいづくりを推進しています。

【シニアライフアップ講座実施状況】（在校生のみ開講）

講座名	籐手芸	日光彫	合計
実施日数	18日	19日	37日
受講生	9人	4人	13人

(4)ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業

老人クラブ、地域ボランティア会の協力を得て、孤立しがちな75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、社会とのふれあいをもってもらい、地域のあたたかい気持ちを伝えることを目的として、会員が日用品等を届けながら月2回程度訪問する友愛訪問事業を実施しました。

地区名	実施クラブ	対象者数(人)			地区名	実施クラブ	対象者数(人)		
		男	女	計			男	女	計
小山地区	1ヶ所	1	1	2	豊田地区	1ヶ所	0	4	4
大谷地区	2ヶ所	2	8	10	桑地区	6ヶ所	6	19	21
間々田地区	4ヶ所	9	25	34	絹地区	1ヶ所	2	1	3
生井地区	-	-	-	-	小計	16ヶ所	20	60	76
寒川地区	1ヶ所	0	2	2					
中地区	-	-	-	-	自治会V会	4ヶ所	6	32	38
穂積地区	-	-	-	-	合計	20ヶ所	26	92	118

2-3. 必要な人に情報や支援をつなげよう

(1)心配ごと相談事業（一部市受託事業）

社会生活の中で生ずる諸問題について、相談員（民生委員児童委員、学識経験者）が市民からの相談に応じ、問題解決の手助けを行っています。

- ・ 開設日時：毎週火曜日
 第1・3・5週 午前10時～12時
 第2・4週 午前10時～午後3時（毎月第2・4週の午前中は法律相談）
- ・ 場 所：旧保健福祉センター 心配ごと相談室（小山市中央町2-2-21）

ア. 相談実施状況

項目	一般相談	法律相談	合計
開設日数	26日(延相談員数51人)	24日(延相談員数48人)	50日(延相談員数99人)
相談件数	32件(内電話相談8件)	94件	126件(内電話相談8件)

イ. 相談種別取扱件数

NO	相談種別	件数	割合	NO	相談種別	件数	割合
1	財産問題	30件	23.8%	11	精神衛生問題	1件	0.8%
2	離婚問題	11件	8.7%	12	高齢者福祉問題	1件	0.8%
3	家族問題	19件	15.1%	13	人権・法律問題	9件	7.1%
4	住宅問題	7件	5.6%	14	結婚問題	1件	0.8%
5	生計問題	19件	15.1%	15	年金問題	-	-
6	苦情問題	7件	5.6%	16	母子・父子福祉問題	-	-
7	事故問題	5件	4.0%	17	健康・衛生問題	-	-
8	職業・生業問題	6件	4.8%	18	児童福祉・母子保健問題	-	-
9	医療問題	-	-	19	教育・青少年問題	1件	0.8%
10	心身障がい者・ 児童福祉問題	1件	0.8%	20	その他	8件	6.3%
相 談 件 数 合 計						126件	100%

(2)暮らしのなんでも相談

来庁・電話による市民からの相談を随時受け付け、適切な機関につなげるとともに、本会として援助を行いながら、要援護者の抱える問題を軽減し、自立に向けた支援を行いました。

総相談 件数	うち 子育て帯	2回目以降 の相談	相談方法			
			電話	来所	訪問	メール 郵便等
538件	43件	107件	219件	319件	0件	0件

相 談 内 容						
生活困窮 (コロナ除く)	コロナ貸付	精神疾患 認知症	家族関係	虐待・DV	要望	その他
413 件	1 件	19 件	21 件	2 件	10 件	54 件

(3) 生活福祉資金貸付事業（栃木県社会福祉協議会受託事業）

低所得世帯、身体障がい者世帯、失業等により生活が困難な世帯を対象に、経済的自立を支援し、生活意欲の助長を図ることを目的として貸付を行いました。また、新型コロナウイルス感染症特例貸付を受けた借受人のうち、償還困難な方に対して、架電や訪問等による生活状況調査を行いました。生活状況調査後、償還猶予の相談・申請、少額返済等のフォローアップ支援業務を行いました。実施主体は県社協で、本会は生活福祉資金貸付申請書類の受理、償還指導、予備審査等の直接的な事務を担当しました。

生活福祉資金貸付件数

資金種別	貸付件数	貸付金額(円)
総合支援資金	-	-
福祉・教育・小口資金	5 件	3,598,000 円
生活復興支援資金	-	-
離職者支援資金	-	-
臨時特例つなぎ資金	-	-
合 計	5 件	3,598,000 円

新型コロナウイルス感染症 特例貸付状況

小山市在住の方の貸付状況（令和6年2月時点）

貸付種類	緊急小口	総合（初回）	総合（延長）	総合（再貸）
件数	2667	1880	246	958

新型コロナウイルス感染症 特例貸付相談件数

償還が困難な借受人へのフォローアップ支援

方法	電話（受電）	電話（架電）	訪問	来所による窓口対応
人数（延べ）	425	1404	20	158

フォローアップ支援内容

支援内容	償還猶予相談受付人数	少額返済の相談を県社会福祉協議会に繋いだ人数	食料支援実施件数
人数（延べ）	69 人	17	9

(4)緊急生活一時資金貸付事業

所得が低く貸付を受けることも難しい、支援を要する世帯に対し、生活のつなぎとして資金を貸付しました。

【緊急生活一時資金月別貸付・償還状況】（償還金額は令和5年度より前の貸付分を含む）

月	貸付件数	貸付金額	償還件数	償還金額
4月	-	-	4件	20,000円
5月	5件	45,000円	2件	15,000円
6月	1件	10,000円	4件	40,000円
7月	3件	25,000円	-	-
8月	2件	12,000円	3件	16,000円
9月	-	-	3件	42,000円
10月	3件	30,000円	3件	20,000円
11月	1件	10,000円	3件	35,000円
12月	1件	10,000円	5件	54,000円
1月	2件	20,000円	1件	10,000円
2月	1件	10,000円	3件	8,000円
3月	-	-	-	-
合計	19件	172,000円	31件	260,000円

(5)緊急食料等支援事業（強化事業）

NPO法人フードバンクとちぎ、道の駅思川、本会善意銀行事業との連携や、市民の方からの寄付により調達した食料を、生活が困窮し食料等の確保に逼迫している世帯に支給しました。

受入量	提供量	支援世帯数
2,511Kg	3,183Kg	119世帯

(6)赤い羽根緊急生活支援商品券支給事業

止むを得ない事情により生計を維持できなくなった世帯等に対し、世帯員の安全で安心な生活の確保のため、赤い羽根共同募金を活用し、全国共通商品券を支給しました。

【上限額】15,000円分（1世帯／年）

【支給内容】1回の支援につき5,000円分を上限とし、年度内に3回まで可。但し、前回助成時から3か月経過していることが条件。なお、18歳未満の児童を養育している世帯で、小学校や中学校への進学費用が必要な場合に限り、追加で5,000円分を助成することができる。

支給回数	支給額	内訳		
		1回利用世帯	2回利用世帯	3回利用世帯
12回	60,000円	7世帯	1世帯	1世帯

(7)低所得世帯入学児童支援事業

小学校に入学する生活保護世帯の児童に対し、ランドセルを贈り就学を支援していますが、今年度の対象支援児童はいませんでした。

(8)災害見舞金支給事業

災害救助法の適用にならなかった小災害の罹災 9 世帯に対して、130,000 円を見舞金として贈りました。

(9)ひとり親家庭支援事業

歳末時期、ひとり親家庭の親子に楽しいひとときを過ごしてもらうため、ポッチャ教室を開催予定でしたが、インフルエンザ流行のため中止としました。

(10)視覚障がい者への「声の広報」の発行

視覚障がい者を対象に、「広報おやま」「市議会だより」「社協だより」「警察だより」等の情報を、ボランティアグループ「郭公の会」の協力を得てCDにデジタイズ録音し、毎月無料で発行しています。約 20 人の利用者があり、視覚障がい者の貴重な情報源となっています。

(11)こども発達支援センター「たんぽぽ園」

①児童発達支援事業（一部市受託事業）

小山市こども発達支援センター「たんぽぽ園」は、小山市・石橋町・国分寺町・野木町を対象地区として、昭和 43 年 6 月に母子通園ホームとして発足し、平成 11 年度からは上三川町・南河内町を加え、1 市 5 町の身体障がい児福祉の中核施設としての役割を担ってきました。

その後、在籍児童数が急増したことにより、それぞれ独立し、現在は小山市を対象地域として、肢体不自由児、知的障がい児、その他障がいを持つ子どもたちや発達に心配のある子どもたちに、療育訓練を行っています。

平成 28 年 8 月からは、開設場所をこれまでの市保健福祉センター内から、あけぼの保育所仮園舎跡（神鳥谷 934-3）に移し、療育を行っています。

【契約幼児の状況】(R6.3.31 現在)

ア. 市町別幼児数

小山市	他市町	計
54 人	0 人	54 人

イ. 年齢別幼児数

0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
0 人	3 人	6 人	18 人	11 人	16 人	54 人

ウ. 障がいの特性別幼児数

肢体不自由	知的な遅れ	自閉症スペクトラム(疑い含む)	その他	計
2 人	7 人	44 人	1 人	54 人

②放課後等デイサービス事業（強化事業）

平成 28 年 11 月から、就学児を対象に、学校終了後又は夏休み等の長期休業日に、生活能力の向上のため必要な訓練を行ったり、社会との交流促進を図り学校や家庭とは異なる交流、体験を通じて発達支援を行う「放課後等デイサービス事業」を開始しました。

【契約児童の状況】(R6.3.31 現在)

ア. 市町別児童数

小山市	他市	計
27 人	1 人	28 人

イ. 学年別・所属別児童数

1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	計
5 人	6 人	6 人	5 人	5 人	1 人	28 人
普通学級		特別支援学級		特別支援学校		計
4 人		16 人		8 人		28 人

ウ. 障がいの特性格別児童数

肢体不自由	知的な遅れ	自閉症スペクトラム(疑い含む)	計
3 人	4 人	21 人	28 人

【小山市こども発達支援センター「たんぽぽ園」利用状況】

年月	児童発達支援						放課後等デイサービス					
	前月末	新規	退園	月末	延べ人数	開設日数	前月末	新規	退園	月末	延べ人数	開設日数
R5.4	39	5	2	42	169	20	24	5	0	29	135	20
R5.5	42	2	0	44	171	20	29	0	1	28	139	20
R5.6	44	2	0	46	226	22	28	0	1	27	139	22
R5.7	46	1	0	47	179	20	27	0	0	27	132	20
R5.8	47	0	0	47	174	22	27	0	0	27	135	22
R5.9	47	3	0	50	187	20	27	0	0	27	124	20
R5.10	50	0	0	50	203	21	27	0	0	27	129	21
R5.11	50	3	0	53	209	20	27	0	0	27	132	20
R5.12	53	0	0	53	199	20	27	0	0	27	117	20
R6.1	53	0	0	53	211	19	27	1	0	28	133	19
R6.2	53	0	0	53	208	19	28	0	0	28	124	19
R6.3	53	1	19	35	215	20	28	0	2	26	135	20
合計	***	17	21	***	2351	243	***	6	4	***	1574	243

(12)相談支援事業所「さくら」

障がい児・者とその家族からの相談に応じ、利用者の意志を尊重し、適切なサービスが利用できるよう福祉サービス等の利用計画を作成するとともに、利用者が可能な限り自立した日常生活・社会生活を送ることができるよう支援しました。

契約人数		相談件数	
障がい児	83人	電 話	809件
障がい者	4人	訪問・面談	527件
合 計	87人	合 計	1,336件

(13)日常生活自立支援事業（あすてらす おやま）（栃木県社会福祉協議会受託事業）

平成11年10月から、栃木県社会福祉協議会から事業委託を受け、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など、判断能力に不安のある方が自立した地域生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理サービス、書類の預かりサービス等の相談・支援を行いました。

ア. 利用者数

前年度末利用者数	契約件数	解約件数	年度末利用者数
95人	10人	13人	93人

イ. 状況別利用者数

認知症高齢者等	知的障害者	精神障害者	その他	計
42人	24人	26人	0人	92人

ウ. 年齢別利用者数

59歳まで	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	計
28人	23人	15人	18人	8人	92人

エ. 相談援助・支援件数

相談援助件数 【電話や来所による相談および サービスを伴わない訪問の件数】	支援件数 【福祉サービスの利用援助および 日常的金銭管理サービスの支援回数】
3,862件	1,549件

オ. 支援件数内訳

専門員	生活支援員	合 計
304件	1,245件	1,549件

(14)成年後見制度利用支援事業（市受託事業）

成年後見制度に関する相談、適切な機関へのつなぎ等の必要な支援を行うとともに、市長申立や費用助成の援助等を通し、必要な方が誰でも適切に制度を利用することができるよう、支援を行いました。

①相談支援の状況

初回 相談者数	初回相談方法			継続支援件数 (初回相談が 前年度以前)	総相談件数	総支援件 数
	来所	電話	メール・ 郵便等			
104人	36件	67件	1件	904件	1,689件	1,908件

親族申立 支援件数	市長申立 支援件数	申立に至った件数			訪問 件数	費用助成件数		後見人等 からの相 談
		親族等 申立	市長 申立	計		後見人 報酬	申立 費用	
104件	581件	5件	2件	7件	139件	2件	0件	150件

(15)市民後見推進事業／成年後見制度利用促進事業（市受託事業）

権利擁護支援の地域連携ネットワークの中核機関として、判断能力の低下した高齢者や障がい者等が安心して暮らすことのできる体制整備を推進するため、成年後見制度の普及・啓発業務、相談対応業務、成年後見制度の利用促進業務、後見人等の支援業務などを実施しました。

① 『思いつむぎノート』の配布

配布部数	配布場所
460部	高齢者サポートセンター、市関係各課、出前講座受講者、希望者、相談者 等

② 『権利擁護あんしんサポートブック』の配布

配布部数	配布場所
820部	高齢者サポートセンター、市関係各課、出前講座受講者、希望者、相談者 等

③ 出前講座の開催

講座名	実施回数	受講者数
「思いつむぎノート」書き方講座	1回	21人
知って安心！ 認知症への備えと予防	1回	12人
楽しくわかる 終活講座	1回	39人
合計	3回	72人

④ 法人後見運営会議に関する委員会

開催日	報告・協議事項
2月22日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 法人後見事業の体制について 受任中のケース概要について 新規受任の適否について

(16)法人後見事業

(年度末件数)	総数	うち高齢者	うち障がい者
新規受任件数	2件	0件	2件
受任中件数	5件	1件	4件
累計受任件数	7件	3件	4件
累計終了件数	2件	2件	—

(17)基幹型地域包括センター／高齢者サポートセンター-小山総合の運営（強化/市受託事業）

①基幹型地域包括支援センター業務

平成27年度より、市内高齢者サポートセンターの基幹型として、市との連絡調整、各高齢者サポートセンターの統括、支援等を行い、高齢者サポートセンターの機能強化を図り、地域包括ケアを推進しました。

活動内容		回数
定例会（センター、主任ケアマネ、社会福祉士、保健師・看護師）		全47回
高齢者サポートセンター運営協議会		2回
自立支援サポート会議		6回（12ケース）
相談・支援	各高齢者サポートセンターへの支援・指導	193件
	ケアマネジャー・事業所に対する相談	11件

②高齢者サポートセンター-小山総合の業務

小山地区（北部・中部支部）の高齢者福祉の中核機関として、高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある生活を継続することができるよう、様々な相談や要介護状態にならないような予防対策をはじめ、個々の状態に応じた介護予防プランの作成等の支援を行いました。

ア. 総合相談等業務

区分	実績	相談者内訳
相談実人数	549人	来所 140人、電話 409人、うち訪問 169人（再掲）
相談延人数	817人	来所 191人、電話 626人、うち訪問 400人（再掲）
実態把握調査	339件	

イ. 介護予防支援業務

区分	実績
介護予防教室開催	16回（参加者 279人）
介護予防プラン作成（直営）	879人
介護予防プラン作成（委託）	1,536人
事業対象者プラン作成	333人

(18)ホームヘルプサービス事業

平成7年7月に小山市からの受託事業としてスタートし、平成11年4月からは、小山市よりホームヘルパーの移管を受けて、介護保険と介護予防サービスの利用者、自立支援サービスの利用者に対して、食事や身の回りの世話、相談、助言等の各種サービスを提供しました。

ア. 対象世帯別サービス提供者数

対象世帯	人数	利用者内訳
介護保険、介護予防利用者	46人	介護25人、介護予防17人、事業対象者4人
自立支援利用者	14人	身体障がい9人、知的障がい2人、精神障がい3人、児童0人
同行援護、移動支援利用者	2人	同行援護1人、移動支援1人
合計	62人	

イ. ホームヘルパー活動状況（常勤・登録別サービス提供時間）

区分	人数	訪問延日数	訪問延回数	訪問延時間
常勤ヘルパー	2人	491日	1,501回	1,218時間00分
登録ヘルパー	11人	2,427日	6,685回	5,459時間10分
計	13人	2,918日	8,186回	6,677時間35分

(19)在宅介護支援センター

平成11年4月にスタートし、平成12年度からは介護保険制度の導入に対応しながら、介護や保健福祉サービスなど各種相談に対応してきました。平成18年4月に介護保険法が改正され、「高齢者サポートセンター」が地域に密着した相談窓口を行うことになってからは、介護サービス計画（ケアプラン）や介護予防プランの作成を中心に行っています。

ア. 介護サービス計画及び介護予防プラン作成人数

区分	実人数	延人数
介護サービス計画	40人	425人
介護予防プラン	11人	106人
合計	51人	531人

対応実人数	対応延べ人数	対応内容
51人	1,270人	電話699人、来所14人、訪問557人

(20)在宅ねたきり老人等紙おむつ券給付事業（要介護4・5 非課税世帯：市受託事業）

市内に居住する住民税非課税世帯で、在宅で常時紙おむつを必要とする状態の高齢者等を介護している家族を対象に、紙おむつ券の給付を行っています。給付券1枚は1,000円分で、市内43ヶ所の店舗で交換でき、同一年度内に非課税世帯には最大12枚の給付券を給付しました。

区 分	対象者	配布枚数	内使用枚数	助成額
非課税世帯（要介護4・5）	92人	965枚	807枚	807,000円
非課税世帯（その他）	207人	2,211枚	1,922枚	1,922,000円
合 計	299人	3,176枚	2,729枚	2,729,000円

(21)善意銀行の運営

不要になった物や活動の収益で購入した物など、市民、団体、企業から善意により寄付された物品を、必要とする施設や個人に払い出す助け合いの活動を行っています。

（詳細は28～30ページ参照）

預 託（延）		払 出（延）	
個 人	34件	個 人	13件
団 体	12件	団 体	9件
合 計	46件	合 計	22件

2-4. 協働の輪を広げよう

(1)社協会員会費募集

市民総参加による地域福祉活動を推進するために、引き続き会員拡充に努め、自治会連合会、民生委員児童委員協議会等のご協力と多くの市民の方々のご理解により、次のとおり会員の加入を得ました。

◎会員加入の状況

会 員 数				会費納付額
普通会員	特別会員	法人会員	計	
28,479 口	1,000 口	196 口	29,675 口	10,526,950 円

◎地区別内訳

区分 地区	普通会員		特別会員		法人会員		その他 (円)	金額 (円)
	人数 (人)	口数 (口)	人数 (人)	口数 (口)	人数 (人)	口数 (口)		
小 山	9,608	9,608	283	284	60	60	1,200	3,467,000
大 谷	5,308	5,308	158	158	13	13	200	1,815,600
間々田	3,831	3,831	164	169	36	37	650	1,503,950
生 井	480	480	73	74	2	2		228,000
寒 川	263	263	74	66	3	3	200	160,100
豊 田	1,511	1,511	52	52	2	2	800	516,100
中	517	517	10	10	2	2		175,100
穂 積	496	496	2	2	1	1	100	155,900
桑	4,880	4,880	68	73	20	21	700	1,642,700
絹	1,103	1,103	4	4	1	1		339,900
社協扱	482	482	108	108	49	54		522,600
合 計	28,479	28,479	996	1,000	189	196	3,850	10,526,950

※社協扱には、市職員分を含む。

(2)共同募金運動の推進

毎年10月1日～12月31日の期間、全国一斉に募金活動が展開されます。小山市においても、戸別募金・職域募金・法人募金など様々な方法によりご協力をお願いしました。

集めた寄付金は、栃木県共同募金会に集約され、県内の民間社会福祉施設・団体等へ配分されるほか、本会を通じて市内の地域福祉活動に還元されます。

①小山市における募金募集実績（令和5年度募金分）

募金種別	募金実績
戸別募金	18,080,089 円
法人・篤志募金	1,709,700 円
バッジ募金	251,400 円
学校・職員・その他	661,937 円
合 計	20,703,126 円

②募金配分実績（令和4年度募金分）

対象別		配分額	内 容
A	県共同募金会配分	8,715,000 円	県内各種福祉施設・団体配分
B	高齢者事業	789,783 円	友愛訪問事業、シニアライフアップ講座 団体への活動助成
	障がい児・者事業	240,000 円	団体への活動費助成等
	児童・青少年事業	372,990 円	児童遊び場整備事業、団体への活動助成
	住民全般事業	12,773,871 円	福祉教育、ボランティア活動支援、災害ボ ランティア事業、外出支援事業、赤い羽根 商品券給付事業、食糧支援事業等、地区社 協事業
合 計		22,891,644 円	

③災害見舞金支給事業

栃木県共同募金会緊急配分資金規定に基づき、小災害の罹災 9 世帯に対して、60,000 円を見舞金として贈りました。

(3)どんぐり基金(地域福祉振興基金)の造成 (強化事業)

地域における民間福祉活動の推進並びにボランティア活動の振興を図るため、昭和 56 年 3 月に設置された本基金は、市民、自治会をはじめ、福祉基金協力会等の協力を得て造成運動を実施し、平成元年に 1 億円、平成 4 年に 2 億円を達成しました。これを期に自治会への戸別募金を終了し、現在では、団体や個人、募金箱の設置等による善意の寄付を受入れ、運用利息や基金の一部を取り崩し、ボランティア団体への活動補助金や在宅ねたきり老人等紙おむつ券給付事業へ還元しました。

どんぐり基金積立状況 (令和 5 年度寄付受入金の詳細は 31~32 ページ参照)

令和 5 年度寄付金	基金累計額	基金保有額
5,211,950 円	447,809,772 円	380,555,380 円

*基金累計額と基金保有額の差額 (67,254,392 円) は、還元事業に活用しました。

3. 安全で安心して暮らせるまちづくり

3-1. 誰もが住みやすいまちをつくろう

(1)車椅子・車椅子移送車貸出事業

介護保険による車椅子のレンタルが利用できない高齢者や、旅行や催しなどの際の短期間の利用希望に応えるため、車椅子を無償で貸し出し、在宅での生活を支援しました。

また、身体機能の低下や障がい等で一般の交通機関が利用できない方に対しては、車椅子移送車を貸し出し、社会参加や病院等への送迎を援助しました。

区 分	利用人数（延）	日数（延）
車 椅 子	161 人	6073 日
車椅子移送車	13 人	31 日

3-2. 災害時に助け合えるまちをつくろう

(1)災害ボランティア活動推進事業（強化事業）

いざという時のたすけあい講座

～災害ボランティアって、なに？～（共催）

（於：小山市市民活動センター）

開催日	内 容	講 師	参加者数
7月9日（日） 10：00～12：00	・ 災害支援の基本 ・ グループワーク	おやま防災構成団体	19 人

防災フェスの参加

（於：おやまゆうえんハーヴェストウォーク）

開催日	内 容	協 力	参加者数
9月10日（日） 10：00～16：00	・ 防災グッズ作成 ・ 防災ワークショップ	おやま防災隊員	189 人

防災スタディーツアー（共催）

（於：福島県）

開催日	内 容	ゲストスピーカー	参加者数
11月25日（土） 7：30～19：00	・ 東日本大震災の被災地を巡る スタディーツアー	・ 北村 雅 氏 ・ 山根 辰洋 氏	23 人

4. 地域に根づいた法人の運営

4-1. 責任ある法人運営

(1)理事会、評議員会、委員会の開催

①理事会

開催日	議案
6月9日(金)	理事及び監事の推薦について（次期役員案） 評議員候補者の推薦について（退任者補充） 評議員選任・解任委員会委員の招集について 令和5年度 小山市社会福祉協議会 資金収支補正予算（案）について 令和4年度 小山市社会福祉協議会 事業報告について 令和4年度 小山市社会福祉協議会 決算について 令和4年度 決算における社会福祉充実計画について 令和5年度 小山市社会福祉協議会 定時評議員会の招集について
6月30日(金)	会長、副会長及び常務理事の選定について 評議員選任・解任委員会委員の選任について（退任者補充） 第三者委員の選任について 委員会委員の指名について
11月22日(水)	令和5年度 小山市社会福祉協議会 資金収支補正予算(案)について 令和5年度 小山市社会福祉協議会 上半期事業報告について 令和5年度 小山市社会福祉協議会 第2回評議員会の開催について
令和6年 3月8日(金)	令和5年度 小山市社会福祉協議会 資金収支補正予算(案)について 令和6年度 小山市社会福祉協議会 事業計画(案)について 令和6年度 小山市社会福祉協議会 予算(案)について 令和6年度における小山市との業務委託契約の締結について 令和5年度 小山市社会福祉協議会 第3回評議員会の開催について

②役員（理事・監事）研修会

開催日	内容
9月28日(木)	・会場 とちぎ福祉プラザ内研修室 ・講話 「社協運営等に対する役員の責務と役割について」 講師：栃木県社会福祉協議会 地域福祉部長 齋藤 禎 氏

③評議員会

開催日	議案
6月26日(月)	理事及び監事の推薦について（次期役員案） 令和5年度 小山市社会福祉協議会 資金収支補正予算（案）について 令和4年度 小山市社会福祉協議会 事業報告について 令和4年度 小山市社会福祉協議会 決算について 令和4年度決算における社会福祉充実計画について
12月13日(水)	令和5年度 小山市社会福祉協議会 資金収支補正予算(案)について 令和5年度 小山市社会福祉協議会 上半期事業報告について
令和6年 3月27日(水)	令和5年度 小山市社会福祉協議会 資金収支補正予算(案)について 令和6年度 小山市社会福祉協議会 事業計画（案）について 令和6年度 小山市社会福祉協議会 資金収支予算（案）について

④評議員選任・解任委員会

開催日	協議事項
6月14日(水)	評議員の選任（退任者補充）について 令和5年度第1回評議員の開催について

⑤総務・事業合同委員会

開催日	協議事項
令和6年 2月16日(金)	事業委員会委員長及び副委員長の互選について 総務・事業合同委員会委員長及び副委員長の互選について 社会福祉功労者表彰及びどんぐり基金・善意銀行感謝状贈呈式並びに 標語コンクール結果報告について 廃止事業及び代替事業（案）について 新規事業（案）について

⑥福祉委員会

開催日	協議事項
令和6年 1月24日(水)	第10回「ふくし」の標語コンクール優秀作品の選出について 緊急生活一時資金貸付事業の貸付・償還状況及び欠損処分について フードバンクと連携した緊急食料等支援事業について 赤い羽根緊急生活支援商品券支給事業について

⑦広報委員会

開催日	協議事項
4月27日(木)	社協だより ふれあい(6月1日号)の掲載記事について
8月3日(水)	社協だより ふれあい(9月1日号)の掲載記事について
11月1日(水)	社協だより ふれあい(12月1日号)の掲載記事について
令和6年 1月31日(水)	社協だより ふれあい(3月1日号)の掲載記事について 令和6年度の発行予定及び契約業者について

その他

(1)日本赤十字社事業

日本赤十字社栃木県支部小山市地区として、活動資金募集の募集を行いました。

また、栃木県支部からの地区区分交付金を活用し、血液事業への助成や、広報活動を行った他、火災等で被災された世帯に対して、見舞金等の支給や災害救援物資の支給を行いました。

①活動資金募集実績

目 標 額	実 績 額
17,977,000 円	12,914,650 円

②災害救護活動実績

内 容		実 績	
		件 数	金 額
見舞金	全焼	6 件	120,000 円
	半焼	0 件	0 円
死亡弔慰金		0 件	0 円
重症加算		1 件	5,000 円
毛 布		11 枚	
布 団		11 組	
緊急生活セット		3 セット	

小山市社会福祉協議会善意銀行寄付者・払出先明細（敬称略）

寄付内容			払出先
寄付者	物品名	数量	
美田地区民児協	食品	多数	小山市社協（個人）
高木富江	布団等	多数	小山市社協（個人）
栃木県退職公務員連盟 小山支部	タオル	300本	市内福祉施設（団体）
ジャパンソルト株式会社 栃木支店	食品	多数	市内福祉施設（団体）
株式会社デンソーテン	食品	多数	小山市社協（個人）
匿名	日用品	多数	市内福祉施設（団体）
匿名	大人用紙おむつ シルバーカー	1袋 1台	小山市社協（個人）
榎弘美	米	60kg	小山市社協（個人）
大内キヨ	日用品	多数	市内福祉施設（団体）
匿名	米	120kg	小山市社協（個人）
匿名	タオル	多数	市内福祉施設（団体）
匿名	車椅子	2台	小山市社協（団体）
匿名	衣類	多数	市内福祉施設（団体）
匿名	食品	多数	小山市社協（個人）
株式会社オリジン間々田工場	食品	多数	小山市社協（個人）
匿名	食品	多数	小山市社協（個人）
匿名	米	300kg	小山市社協（個人）
匿名	米	30kg	小山市社協（個人）
匿名	米	20kg	小山市社協（個人）
匿名	切手	多数	市内福祉施設（団体）

匿名	米	30kg	小山市社協（個人）
匿名	米	20kg	小山市社協（個人）
匿名	米	153kg	小山市社協（個人）
匿名	大人用紙おむつ	多数	市内福祉施設（団体）
西條 幸治	米	30kg	小山市社協（個人）
匿名	食品	多数	小山市社協（個人）
鹿島向原自治会	食品	多数	小山市社協（個人）
匿名	米	30kg	小山市社協（個人）
村田 タエ	日用品	多数	市内福祉施設（団体）
匿名	米 食品 日用品	多数	小山市社協（個人）
松井 勤一郎	米	30kg	小山市社協（個人）
デイサービスにこにこ元気	衣類	多数	小山市社協（個人）
絹ふれあいの郷交流推進組合	米	300kg	小山市社協（個人）
五家英子とみんな 楽しく踊ろう会 小山支部	車椅子	1台	小山市社協（団体）
匿名	衣類	多数	市内福祉施設（団体）
匿名	食品	多数	小山市社協（個人）
匿名	衣類	多数	小山市社協（個人）
匿名	大人用紙おむつ	多数	市内福祉施設（団体）
匿名	大人用紙おむつ	多数	市内福祉施設（団体）
匿名	タオル	多数	市内福祉施設（団体）
匿名	食品	多数	小山市社協（個人）

匿 名	衣類 タオル 日用品	多数	小山市社協（個人）
こくみん共済coop 小山・栃木地区共済会	タオル	多数	市内福祉施設（団体）
連合栃木下都賀地協	食品	多数	小山市社協（個人）
匿 名	衣類	多数	小山市社協（個人）
匿 名	子供用マスク	多数	市内福祉施設（団体）

預託（延）：個人34件、団体12件 計46件

払出（延）：個人13件、団体9件 計22件（払出件数の合計は個人・団体の重複を含む）

令和5年度 地域福祉振興基金（どんぐり基金）寄付受入明細書

令和5年4月1日～令和6年3月31日 単位：円

No.	受入年月日	金額	寄付者
1	2023年4月10日	5,000	戸井田 博
2	2023年4月17日	7,393	巴波川決壊口祈念公園愛護会
3	2023年4月18日	100,000	匿名
4	2023年4月20日	2,514	株式会社オリジン 間々田工場
5	2023年4月20日	1,467	株式会社オリジン 間々田工場
6	2023年4月24日	37,878	宇野音楽院
7	2023年4月25日	33,384	ORD プロジェクト ピザ部会
8	2023年4月25日	295,000	小山市民生委員児童委員協議会
9	2023年4月28日	50,000	株式会社マルエツ
10	2023年5月18日	7,161	中村 明夫
11	2023年5月19日	1,293	株式会社オリジン 間々田工場
12	2023年5月22日	18,235	匿名
13	2023年5月23日	100,000	作道 義明
14	2023年6月1日	17,469	青木 徳久
15	2023年6月14日	48,636	山本 二男
16	2023年6月20日	1,330	株式会社オリジン 間々田工場
17	2023年7月20日	1,768	株式会社オリジン 間々田工場
18	2023年7月20日	2,351	株式会社オリジン 間々田工場
19	2023年8月17日	310,000	古河電工株式会社 古河アルミ株式会社 小山工場OB会
20	2023年8月18日	10,344	豊北35会
21	2023年8月18日	1,280	株式会社オリジン 間々田工場
22	2023年8月23日	27,840	土塔（一）育成会
23	2023年8月28日	5,901	美しが丘夏祭り実行委員会
24	2023年9月1日	37,300	スマイルコンサート
25	2023年9月14日	49,309	間々田中学校昭和32年度卒業同窓会
26	2023年9月20日	1,267	株式会社オリジン 間々田工場
27	2023年9月21日	18,618	青木 徳久
28	2023年10月6日	100,000	匿名
29	2023年10月11日	11,972	匿名
30	2023年10月20日	3,015	株式会社オリジン 間々田工場
31	2023年10月20日	1,432	株式会社オリジン 間々田工場
32	2023年10月20日	60,000	匿名
33	2023年10月23日	20,300	ぬくもり
34	2023年10月27日	460,000	両毛ヤクルト販売株式会社
35	2023年10月27日	100,000	木曜会

36	2023年11月13日	34,495	小山市農業士会
37	2023年11月14日	40,785	山本 二男
38	2023年11月14日	38,417	匿名
39	2023年11月20日	1,464	株式会社オリジン 間々田工場
40	2023年11月21日	79,016	小山市農政対策協議会
41	2023年11月22日	10,000	匿名
42	2023年12月7日	37,405	小山市シルバー人材センター
43	2023年12月8日	6,240	大関 洋子
44	2023年12月8日	5,314	谷島節子古布リメイク教室一同
45	2023年12月11日	50,000	谷島節子古布リメイク教室一同
46	2023年12月14日	8,659	学校法人つぼみ学園 つぼみ kindergarten
47	2023年12月14日	200,000	株式会社レゾナック 小山事業所
48	2023年12月15日	40,221	オカリナハーモニー歌音
49	2023年12月18日	10,000	小山きもの日 実行委員会
50	2023年12月18日	119,577	小山市仏教会
51	2023年12月20日	5,850	匿名
52	2023年12月20日	1,511	株式会社オリジン 間々田工場
53	2023年12月24日	8,282	御殿町商店会
54	2023年12月28日	2,210,000	匿名
55	2023年12月28日	30,441	特定非営利活動法人 げんきフォーラム桑
56	2023年12月28日	33,143	認定こども園 早蕨幼稚園
57	2024年1月11日	24,303	小山市交響吹奏楽団
58	2024年1月19日	4,221	株式会社オリジン 間々田工場
59	2024年1月19日	1,330	株式会社オリジン 間々田工場
60	2024年1月30日	19,789	青木 徳久
61	2024年2月5日	100,000	アルテミラ株式会社 小山工場
62	2024年2月7日	16,184	日向野 正道
63	2024年2月7日	56,325	レゾナック労働組合 小山支部
64	2024年2月20日	995	株式会社オリジン 間々田工場
65	2024年2月22日	20,017	株式会社ベルク フォルテ間々田店
66	2024年3月4日	10,000	穂積公民館まつり実行委員会
67	2024年3月6日	10,000	寒川公民館まつり実行委員会
68	2024年3月15日	17,109	なつかしの童謡会・おやま
69	2024年3月19日	1,400	株式会社オリジン 間々田工場
70	2024年3月25日	10,000	コマツ小山工場 OB 会 グラウンド・ゴルフクラブ
合計		5,211,950	70件（延件数）

事業報告附属明細書

令和5年度事業報告においては、「事業の内容を補足する重要な事項」に該当するものではありません。